
短報 Short Report

広島県フロラ覚書 (12)
ハマボウ *Hibiscus hamabo* Sieb. et Zucc. (アオイ科) の
広島県における分布新記録

井上尚子¹⁾・久藤広志²⁾

Memoranda for the Flora of Hiroshima Prefecture (12)
New record of *Hibiscus hamabo* Sieb. et Zucc. (Malvaceae) from Hiroshima Prefecture

Naoko Inoue¹⁾ and Hiroshi Hisato²⁾

摘要

ハマボウ *Hibiscus hamabo* Sieb. et Zucc. (アオイ科) が、広島市西区太田川放水路の川岸で 16 個体、太田川放水路支流の御幸川の川岸で 2 個体確認された。これは広島県内では初めての証拠標本に基づいた記録である。今回確認された最も大きな個体は、樹高が 2.4 m、株元の幹直径は 15 cm であった。

キーワード：塩生植物、塩沼地、太田川、絶滅危惧植物

Summary

Hibiscus hamabo Sieb. et Zucc. (Malvaceae) was newly recorded in Hiroshima Prefecture based on voucher specimens. We recorded 16 individuals along the Ota River and two individuals along the Miyuki River, a tributary of the Ota River, in Nishi-ku, Hiroshima City. The largest individual was 2.4 m high with 15 cm stem diameter at the base.

Key words: Endangered plant, Halophyte plant, Ota River, Salt marsh

はじめに

ハマボウ *Hibiscus hamabo* Sieb. et Zucc. はアオイ科フヨウ属の落葉低木で、千葉県以西の本州、四国、九州と韓国の済州島に分布し、河口や入り江などの塩沼地やその周辺に生育する（大工園 1984；Horikawa 1976；中西 1979；中西 2010；奥山 1958；大野 2003）。本種は、生育環境が似たマングローブ mangrove と共通する特徴があるが気根や胎生種子は持たず異なった点もあることから、

半マングローブ semi-mangrove と呼ばれる植物の 1 つであり（中西 1979）中西（1979）はこれを標徴種とするハマボウ群集を命名している。本種は河川改修や開発などで失われやすい場所に生育することから、自生地がある多くの府県で絶滅危惧種や分布特性上重要な種に選定され、保護の対象となっている（表 1）。また、生育地の特異性や希少性が認識され、鹿児島県南さつま市の国指定天然記念物「万之瀬川河口域のハマボウ群落及び干潟生物群集」をはじめ、各地で天然記念物に指定

* Contribution from the Hiroshima Botanical Garden No.117

1) 広島市植物公園 The Hiroshima Botanical Garden, 2) 広島県呉市 Kure City, Hiroshima Prefecture, Japan

表 1. 日本各地でのハマボウの位置づけ (2024 年 11 月調べ)

Table 1. Treatment of *Hibiscus hamabo* in its distributed parts of Japan in November 2024

府県名	レッドリストやレッドデータブックに記載されたカテゴリ	天然記念物等の指定 (ハマボウが混生する植生も含む)	地域のシンボル, まつり等
千葉	B (重要保護) ¹⁾		
神奈川	絶滅危惧 IB 類 ²⁾	横須賀市, 県指定重要文化財, 天然記念物「天神島, 笠島及び周辺水域」(1965 指定)	
静岡県	掲載なし	下田市, 市指定文化財, 天然記念物「ハマボウ樹林」(1969 指定)	
愛知	絶滅危惧 II 類 ³⁾	田原市堀切町, 県指定天然記念物「はまぼうの野生地」(1955 指定), 岡崎市, 市指定天然記念物「浄光寺のハマボウ」(1985 指定)	
三重	絶滅危惧 II 類 ⁴⁾	北牟婁郡紀北町, 県指定天然記念物「鈴島暖地性植物群落」(1956 指定)	
大阪	絶滅 ⁵⁾		
兵庫	A (絶滅危惧 IA 類相当) ⁶⁾		洲本市, ハマボウ祭り in 成ヶ島 (2023 年が 32 回目)
和歌山	準絶滅危惧 ⁷⁾	御坊市塩屋町, 市指定天然記念物「ハマボウの群生」(1968 指定)	御坊市, 市の花木 (1994 指定)
島根	絶滅危惧 I 類 ⁸⁾		
岡山	絶滅危惧 I 類 ⁹⁾		
山口	絶滅危惧 II 類 ¹⁰⁾	萩市, 市指定天然記念物「笠山ハマボウ自生北限地」(1993 指定)	
徳島	準絶滅危惧 ¹¹⁾	美波町, 町指定天然記念物「ハマボウの群生地」(1989 指定)	鳴門市, 市の花 (1984 指定), ハマボウまつり
香川	絶滅危惧 I 類 ¹²⁾	小豆郡土庄町, 町指定天然記念物「小部のハマボウ群落」(1968 指定)	
愛媛	絶滅危惧 II 類 ¹³⁾		
高知	EN (絶滅危惧 IB 類) ¹⁴⁾		
福岡	絶滅危惧 II 類 ¹⁵⁾	糸島市, 県指定天然記念物「泉川のハマボウ群落」(2016 指定)	糸島市, 市の花 (2010 指定), 古賀市, ハマボウまつり (2023 が第 13 回目)
長崎	掲載なし	長崎市, 県指定天然記念物「川原大池樹林」(1978 指定)	西海市, 市の花木 (2009 指定)
熊本	掲載なし		天草市, 市の花 (2009 指定)
大分	絶滅危惧 II 類 ¹⁶⁾		
宮崎	NT-g ¹⁷⁾ (準絶滅危惧)		
鹿児島	分布重要種 (南限) ¹⁸⁾	南さつま市, 国指定天然記念物「万之瀬川河口域のハマボウ群落及び干潟生物群集」(2007 指定), 薩摩川内市, 市指定天然記念物「久見崎ハマボウ自生地」(2000 指定)	

【文献】 1) 千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会編 2023, 2) 神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課・神奈川県立生命の星・地球博物館編 2022, 3) 愛知県環境調査センター編 2020, 4) 三重県農林水産部みどり共生推進課編 2015, 5) 大阪生物多様性保全ネットワーク 2014, 6) 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課編 2020, 7) 和歌山県環境生活部環境政策局環境生活総務課自然環境室編 2022, 8) 井上雅仁 2013, 9) 狩山 2020, 10) 山口県 2019, 11) 徳島県 2014, 12) 末広 2021, 13) 愛媛県県民環境部自然保護課 2023, 14) 高知県レッドデータブック (植物編) 改訂委員会編 2022, 15) 福岡県環境部自然環境課 2011, 16) 大分県自然環境学術調査会編 2023, 17) 宮崎県レッドデータブック改訂・外来種検討委員会編著 2021, 18) 鹿児島県環境林務部自然保護課編 2016

されている（表1）。一方本種は、熱帯花木として普及しているハイビスカスの近縁種で花が美しいことから、自治体の花に選定されているほか、開花期にハマボウまつりが開催されるなど（表1）、親しまれている植物でもある。

広島県における本種の分布については、戦前の広島県の植物相をまとめた高木リスト（広島市植物公園編 2005）、加藤弥栄が1939年に「植物趣味」という雑誌に掲載した産地「宮島」（関ほか 1975）、広島県植物目録（土井 1983）の産地「安浦」などの記録などがあるが、いずれも標本が確認されず、広島県植物誌（広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会編 1997）では未確認種とされ、広島県において本種は分布して

いないとされてきた（中西 2010；横川 2017）。

著者らは、2024年5月から6月にかけて広島市西区の太田川放水路の塩生植物の分布状況を調査し、3地点でハマボウの生育を確認した。さらに2024年10月に広島県西部建設事務所の田中亮参事から広島市西区の御幸川沿いにもハマボウが生育しているという情報を得て、4地点目の生育地を10月と11月に調査した。本稿では、これらの調査に基づき、広島県におけるハマボウの生育状況について報告する。

調査地

図1に瀬戸内海沿岸のハマボウの分布と今回の

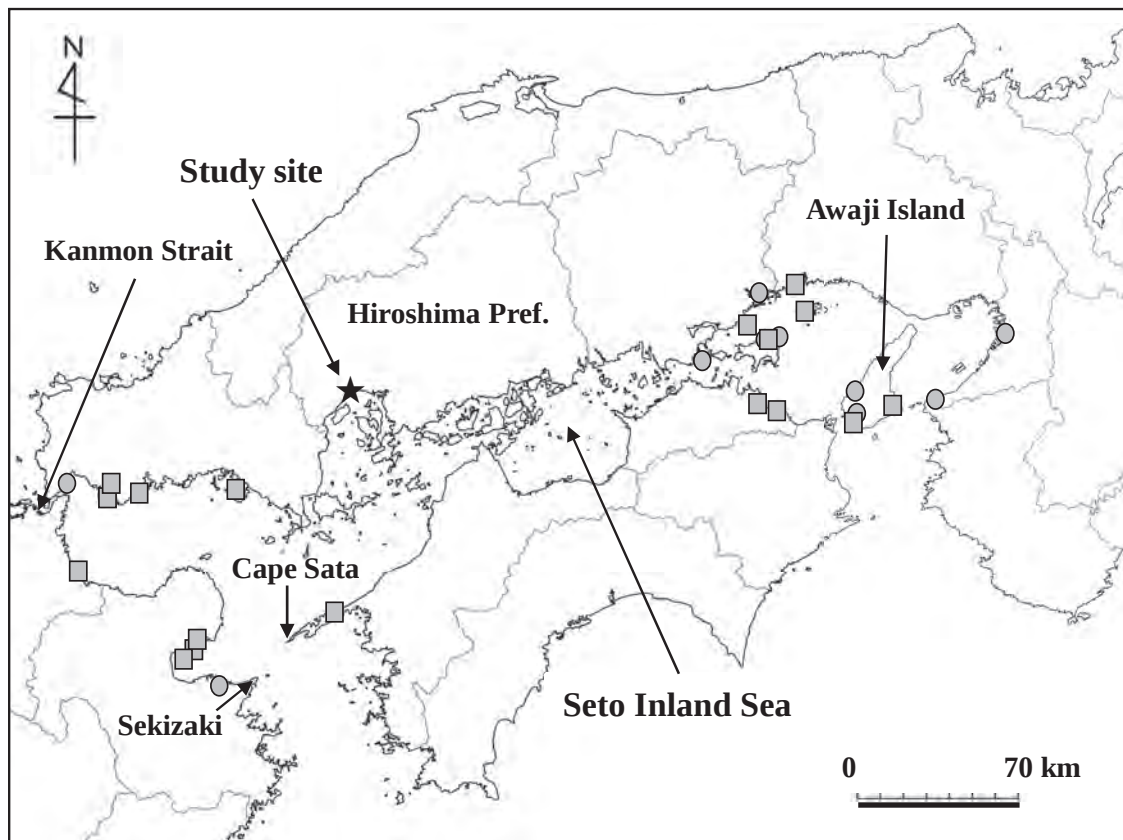


図1. 瀬戸内海沿岸のハマボウの分布と調査地

●は1966年以前に標本が採集された地点、■は1967年以降に標本が採集された地点を示す（横川 2017）。瀬戸内海は関門海峡、愛媛県佐田岬－大分県関崎を結ぶ線、淡路島の南岸線の延長線に囲まれる海と定義する（横川 2017）。★は本調査地を示す

Figure 1. Distribution of *Hibiscus hamabo* in Seto Inland Sea and the investigated area in this study

● indicates the site where voucher specimen were collected before 1966, ■ indicates the site where voucher specimen were collected after 1967 (Yokogawa 2017). The Seto Inland Sea is defined as the sea surrounded by Kanmon Strait, the line connected between Cape Sata and Sekizaki and the south coast of the Awaji Island (Yokogawa 2017). ★ indicates the investigated area in this study.

調査地の位置を示した。また今回調査した4地点を、図2～6と表2に示した。太田川放水路は太田川を改修して1968年に完成した河川であり（国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所 2018）、御幸川は昭和時代の終わりに河口周辺の海が埋め立てられて完成した河川である（広島市編 1983）。

A地点は太田川放水路右岸の西広島大橋の直下南側で、ハマボウの株元にはヨシ *Phragmites australis* (Cav.) Trin. ex Steud., テリハノイバラ *Rosa luciae* Rochebr. et Franch. ex Crèp., フクド *Artemisia fukudo* Makino などが生育していた（図3a）。周辺には重機で削られたような裸地（図3a 白三角で示した部分）やフクド、ハマサジ *Limonium tetragonum* (Thunb.) A.A.Bullock, ホソバハマアカザ *Atriplex patens* (Litv.) Iljin, イソヤマテンツキ *Fimbristylis sieboldii* Miq. ex Franch. et

表2. 調査地

Table 2. Investigated sites

地点 ¹⁾ Site	地名 Address (広島市西区) (Nishiku, Hiroshima City)	緯度 latitude 経度 longitude	標高 Altitude (m)
A	山手町2丁目	34.405045 132.436245	2.0
B	己斐東1丁目	34.402855 132.434113	2.0
C	福島2丁目	34.393472 132.430723	2.5
D	草津東1丁目	34.377322 132.406433	2.7

1) : A～Dの位置は図2参照

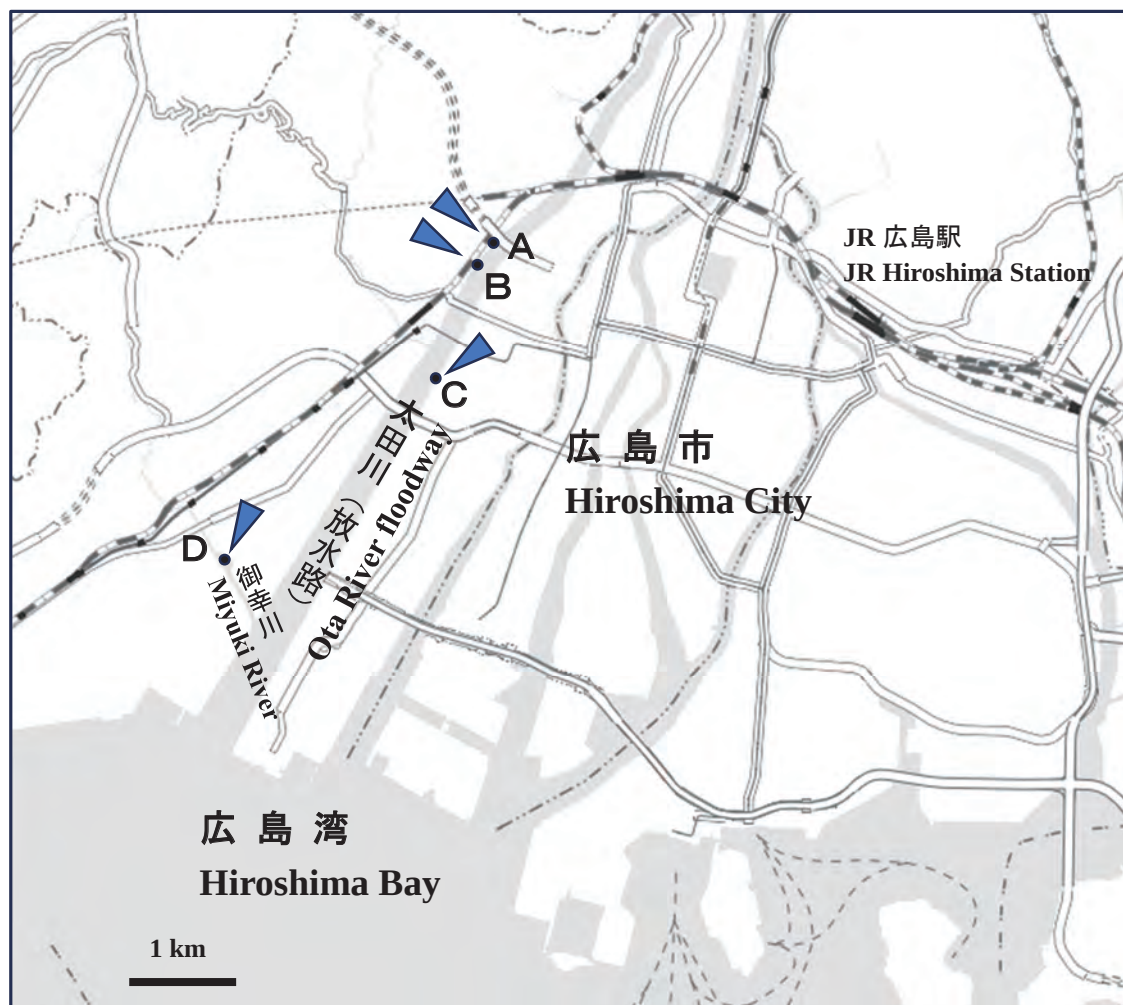


図2. ハマボウを確認した地点A～D. 黒点と三角印で示した

Figure 2. Investigated sites (A-D) are indicated by black circle and triangle

Sav. などの塩生植物が生える湿地があった（図 3a 黒三角で示した部分）。

B 地点は太田川放水路右岸の第三号山手樋門と第四号山手樋門の間の高水敷の中間に位置し、ハマボウの株周辺にはヨシやフクド、テリハノイバラ、シオクグ *Carex scabrifolia* Steud. などが生育していた。周囲 5 m 以内には樹高 2 m 以上の樹木は見られなかった（図 4a）。株元は流されてきた枯草やプラスチックゴミなどで埋もれていた。

C 地点は太田川放水路左岸の新己斐橋と旭橋の間の敷石護岸で、ハマボウは石とコンクリート壁

の隙間から生えており、周辺には他の植物は生育していなかった（図 5a, b）。

D 地点は御幸川の左岸で、砂だまりになっていた。近辺には何艘かの船が係留されていた（図 6a）。ハマボウはコンクリートの護岸のそばでナンキンハゼ *Triadica sebifera* (L.) Small やハマゴウ *Vitex rotundifolia* L.f., チガヤ *Imperata cylindrica* (L.) Raeusch. var. *koenigii* (Retz.) Pilg. などと混生していた（図 6 a-c）。川側に高度約 1 m 下った所にはハマサジやハママツナ *Suaeda maritima* (L.) Dumort. subsp. *asiatica* H.Hara が生育していた。



図 3. A 地点のハマボウ

a: 生育地の様子（2024 年 7 月 30 日。以下図の撮影はすべて 2024 年のため略す）。ハマボウは白い丸で囲って示した。白三角で示したのが裸地、黒三角で示したのがハマサジやイソヤマテンツキが生える湿地 b: A1 の様子（5 月 30 日） c: 株元の様子（11 月 18 日） d: A1 は B1 より約 20 日遅れて開花（7 月 30 日）

Figure 3. *Hibiscus hamabo* at site A

a: View of habitat (30 July 2024). *Hibiscus hamabo* is indicated by white circle. White triangle indicates the bare ground, and black triangle indicates the marsh where halophyte plant such as *Limonium tetragonum* or *Fimbristylis sieboldii* grows. b: View of A1 (30 May 2024). c: Appearance of the base of A1 (18 November 2024). d: A1 bloomed on 30 July 2024, approximately 20 days after B1.

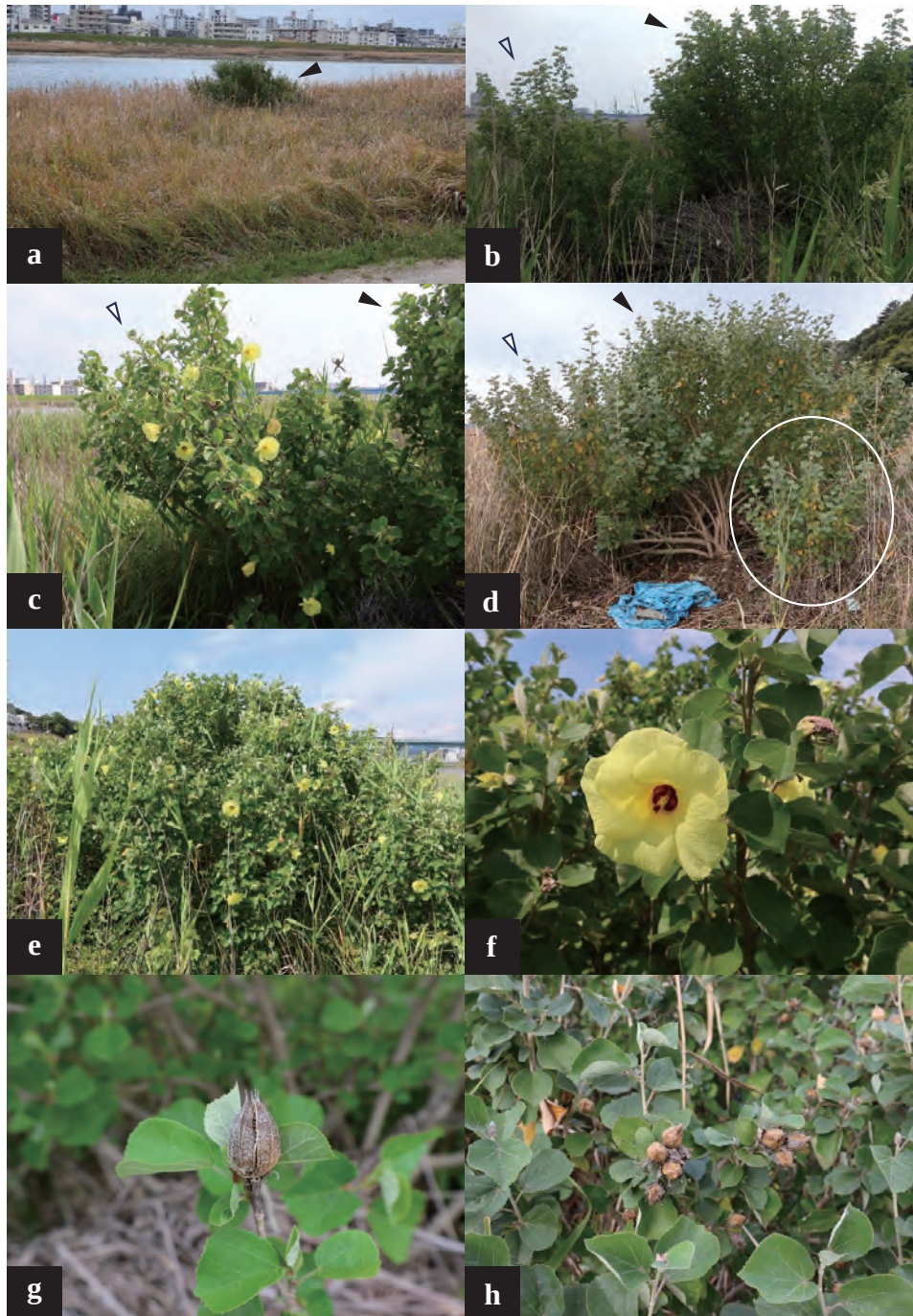


図4. B地点のハマボウ

a:生育地の様子(11月27日)。ハマボウの位置を黒三角で示した。b, c, d:ハマボウの様子(b:5月24日, c:7月12日, d:11月27日)。白三角で示した部分と黒三角で示した部分はどちらもB1の一部であった。B2～B14は白丸で囲って示した。e:B1を南側から見た様子(7月12日)。f:B1の花(7月12日)。g:2023年以前に実ったB1の果実(5月22日)。h:2024年に実ったB1の果実(11月18日)

Figure 4. *Hibiscus hamabo* at site B

a: View of habitat (27 November 2024). *Hibiscus hamabo* is indicated by black triangle. b, c, d: View of individuals (b: 24 May 2024, c: 12 July 2024, d: 27 November 2024). Part of individual indicated by black triangle and white triangle was part of B1. 13 individuals, B2-B14, are indicated by white circle. e: View of B1 from the south (12 July 2024). f: Flower of B1 (12 July 2024). g: Fruit of B1 before 2023 (22 May 2024). h: Fruits of B1 in 2024 (18 November 2024).



図 5. C 地点のハマボウ

a : C1の様子 (6月11日). b : 生育地の様子 (11月18日)

Figure 5. *Hibiscus hamabo* at site C

a: C1 on 11 June 2024. b: View of habitat (18 November 2024)

調査方法

今回確認されたハマボウの生育状況を調べるために、調査地ごとの本種の個体数及び個体の大きさを計数、計測した。調査地ごとにサイズの大きい方から順に個体番号をつけ、各個体の開花・結実状況を調査した。

個体の大きさについては、株元の幹の直径、樹高、枝張りを計測した。幹の直径については、大きな個体では幹が株元で数本に分かれ斜めに伸びるか匍匐していることが多いことから、中西 (1979)

に倣い、株元で計測した。樹高は、地面から垂直に枝先の一番高いところまでを計測した。枝張りは、枝先を結んだ株周りの一番長い直径を計測した。

B 地点の開花していない 13 個体 (個体番号 2～14) については、枝張りが発達していなかったためその計測は省略し、樹高及び幹の直径は、最大値と最小値のみ示した。C 地点の個体の樹高は、石とコンクリート壁の隙間が狭くメジャーが株元まで届かなかったため、計測できる範囲の値を記した。幹径は可能な限り株元に近い場所を計測し

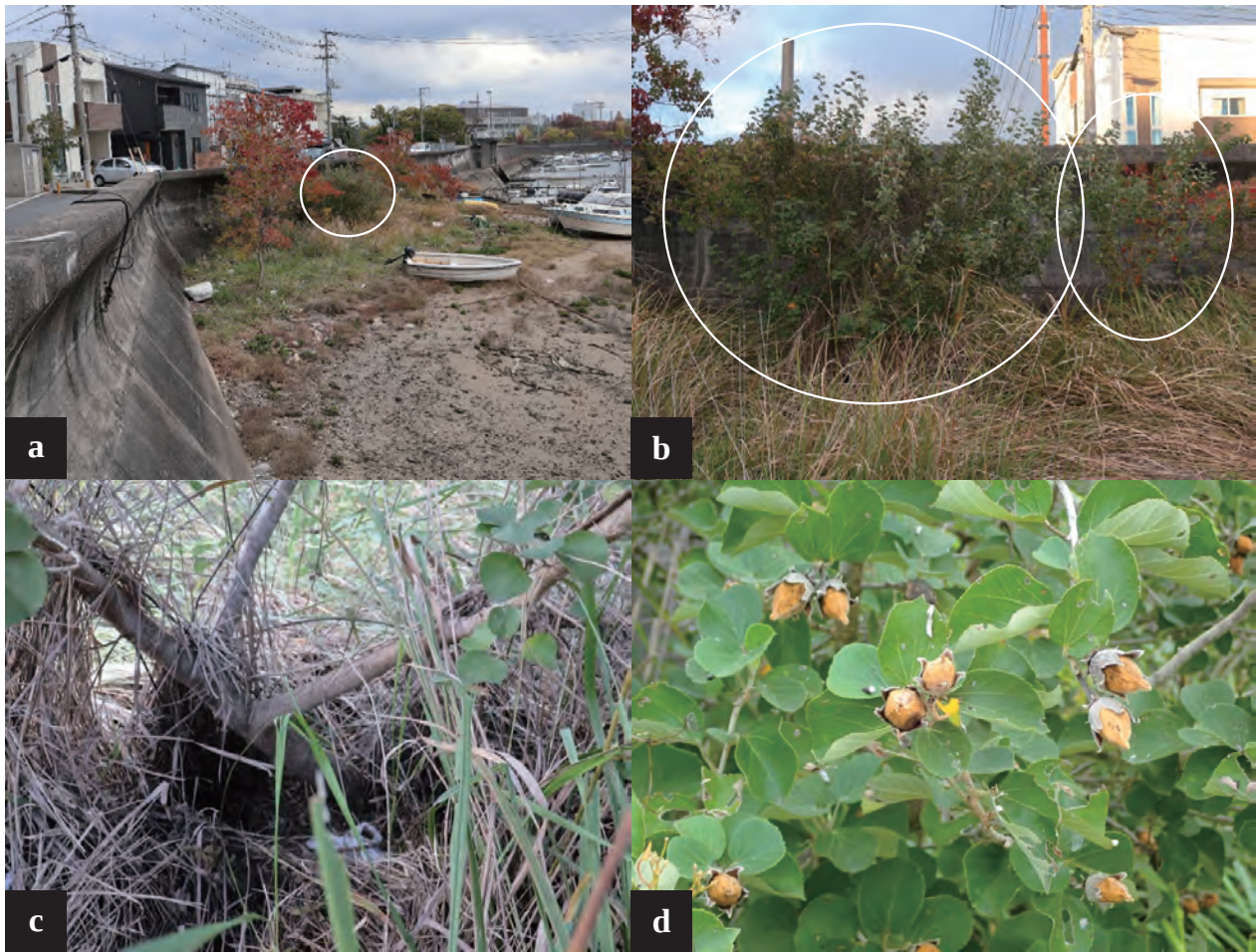


図 6. D 地点のハマボウ

a: 生育地の様子. ハマボウの位置を白丸で示した (11 月 27 日) b: 2 個体をそれぞれ白丸で囲って示した (11 月 27 日)
c: D1 の株元の様子. (11 月 18 日) d: D1 の果実 (10 月 15 日)

Figure 6. *Hibiscus hamabo* at site D

a: View of habitat. *Hibiscus hamabo* is indicated by white circle (27 November 2024). b: Two individuals are indicated by white circles (27 November 2024). c: Appearance of the base of individual D1 (18 November 2024). d: Fruits on D1 (18 November 2024)

た.

開花, 結実状況については, 開花期と結実期 (A, B, C 地点) あるいは結実期のみ (D 地点) 調査した.

また, ハマボウの定着時期を推定するために, Google が提供するストリートビューの画像を用い, 本種がどの時期から生育しているのかを目視で確認した. 各調査地点でいつから生育しているか知ることが第一目的としたため, 調査個体は各地点の最大個体とした.

調査結果

2024 年 11 月時点における各個体の大きさの計測結果および 2024 年 5 月から 11 月にかけての各個体の開花・結実状況の調査結果を図 3~6 と表 3 に示した.

B 地点の個体 1 (B1. 以下他の個体も同様に示す) については, 夏は株元が草や枯草, 漂着物などに覆われてよく観察できず別個体とみなしていた部分 (図 4b, c, d で黒三角と白三角で示した部分) が, 11 月に調査した結果, 同一個体であることが分かった (図 4d). また B1 の北側に, 実生らしき個体を

表 3. 調査個体の大きさ, 開花・結実状況

Table 3. Size, flowering and fruiting of individuals

地点	個体 番号	株元の幹の直径 ¹⁾ (cm)	樹高 ¹⁾ (m)	枝張り ¹⁾ (m)	開花・結実状況 ²⁾
A	1	9	2.0	3.0	開花少
B	1	15	2.4	5.0	開花・結実多
B	2~14	0.3~2	0.2~1.3	欠測	開花無
C	1	2	0.7	0.6	開花無
D	1	10	2.4	4.0	結実多
D	2	5	2.1	1.1	結実少

- 1) 2024 年 11 月. B 地点の幹の直径と樹高は, 開花していない 13 個体については範囲で示した. また株の枝張りに
ついては, 開花株のみ計測した
- 2) 2024 年 7 月~11 月. 開花・結実数については, 半分以上の枝が開花・結実あるいは 1 本の枝先に 2 以上開花・結
実した場合を「多」, 4 分の 1 以下の枝が開花かつ 1 本の枝先に 2 以上の開花・結実が認められなかった場合を「少」
とした

確認した (図 4d の白丸で囲った部分, 表 3 の個体
番号 2~14).

本調査では, 幹直径 5 cm 以上, 樹高 2.0 m 以上
だった A1, B1, D1, D2 は開花し, 幹直径 2 cm
以下で樹高が 1.3 m 以下の B2~14 と C1 は開花し
ていないことを確認した. また幹直径 10 cm 以上
だった B1 と D1 は, 開花・結実数が多く, 9 cm
以下だった A1 と D2 は, 開花または結実数が少な
かった (図 3d, 4c, 4e~h, 5b, 6d, 表 3).

表 4 に, Google が提供するストリートビューの
画像を用いた個体の有無の確認結果を示した. A
地点においては 2014 年と 2015 年, B 地点と D 地
点においては 2014 年に, 視認できる大きさの本種
は生育していなかったことが確認できた. また A
地点では 2022 年以降, B 地点では 2021 年以降,
D 地点では 2020 年以降に本種が生育しているこ
とが確認できた. B 地点では 2021 年に開花していた.

考察

栽培条件下における記録によれば, 本種の苗木
は 1 年生で平均樹高 20 cm, 2 年生で樹高 40~80
cm で幹径 1.0~1.5 cm となる (和歌山県林業セン
ター編 1982). 本調査地におけるハマボウの生育
スピードが和歌山県と同じと仮定すると, B12~
B14 は 1 年生, B5~B11 と C1 は 2 年生, その他
の個体は 3 年生以上と推定される. Google が提供
するストリートビューの画像によれば, 2014 年に
は本調査地内に本種の生育が確認できなかった.

表 4. Google が提供するストリートビューの画像を用い
た個体の有無の確認¹⁾Table 4. Results of presence of individual from Streetview
data supplied by Google¹⁾

日付 Date	調査地 Study sites			
	A	B	C	D
Jan. 2014	—	—	—	×
Feb. 2014	×	×	—	—
May 2015	—	—	—	△
Jul. 2015	×	△	—	—
Aug. 2017	△	△	—	—
Nov. 2018	—	△	—	—
Aug. 2019	—	—	—	△
Nov. 2020	△	△	—	○
Jul. 2021	—	○	—	—
Aug. 2021	△	—	—	○
Aug. 2022	○	△	—	—
Oct. 2024	○	○	—	—

- 1) 存在「○」, 不在「×」, データはあるが存在の有無
の確認は不能「△」, データがない「—」

- 1) Present '○', Absent '×', Hard to determine the presence
'△', No data '—'

以上のことから, その生育期間は 10 年以内である
と推測された.

次に, 広島市でこれまで報告がなかった本種が
今回なぜ確認されたのかについて, 考えてみたい.

まず, 本種は熱帯花木のハイビスカスの仲間であ
り低温では生育が阻害される半耐寒性の落葉低

木である（立花 1989）。広島過去の日最低気温の月平均値の記録をみると、2011 年 1 月の -0.5°C や 2013 年 1 月の 0.8°C など、2013 年までは日最低気温の月平均値が 1.0°C を下回ることがしばしばあって（国土交通省気象庁 2024）、冬の寒さで株もしくは枝先が枯れて大きく成長できなかったものが、2014 年以降は冬の寒さが厳しくなかったために枯れずに大きく育ち開花して目立つようになった可能性がある。

鹿児島県の九州本土側の海岸線を、本種の分布の有無を確認しながら調査した大工園（1984）によれば、本種は淡水が供給されない場所には生育せず、生育地 37 地点は全て汽水域であった（大工園 1984）。栽培条件下では淡水のみでよく育ち、水切れには注意が必要とされる（山崎編²⁾ 2016）。一方本種は海流散布植物（大工園 1984；中西 1979）なので、海水が流れ込むことがある場所に分布する。今回、本種の生育が確認された地点は、御幸川の川岸や八幡川、三滝川が太田川放水路と合流する地点の周辺にあり、常に淡水が供給され、かつ海からの漂着物も定着する可能性がある絶妙な場所である。今回生育が確認された本種の個体が人為的に植栽されたものではなく、海流に乗って散布された種子が発芽、成長したものである可能性は高い。

ただし、本種は昭和時代から防潮林や庭木として植栽されることがあり（立花 1989）、平成時代以降は夏の黄緑色の丸い葉や秋の紅葉が好まれ盆栽としても普及しており（山崎編¹⁾ 2016；山崎編²⁾ 2016）、栽培個体からの逸出機会が増えた可能性もある。この種子が本来の自生個体に由来するのか園芸的に栽培されていた個体に由来するのかが、今後の検討課題である。

また、本調査地に定着して 10 年に満たない本種の今後の生育状況を、周辺植生と合わせて継続的に調査することが望まれる。

〔証拠標本〕広島市植物公園標本庫（HIBG）に保管している。ハマボウ *Hibiscus hamabo* Sieb. et Zucc. HIBG27356, hhi240035, hhi240122

謝 辞

本調査は広島市環境局環境保全課の広島市生物現況調査の一環として行った。まずは、太田川河

川敷での調査に便宜を図ってくださった国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所の皆様に感謝申し上げる。また、貴重な情報をご提供いただいた広島県西部建設事務所参事の田中亮氏、本稿をまとめるにあたり指導いただいた広島市生物現況調査業務の植物分科会委員長の世羅徹哉氏に御礼申し上げる。

付 記

本報の受理後、2025 年 1 月に A 地点の個体の地上部が重機で削られているのを確認した。また 2025 年 2 月に C 地点の個体の地上部が石垣上面の高さで切られているのを確認した。

引用文献

- 愛知県環境調査センター 2020. 愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち 2020—植物編—. 810 pp. 愛知県環境局環境政策部自然環境課, 愛知.
- 千葉県希少生物及び外来生物に係るリスト作成検討会編 2023. 千葉県の保護上重要な野生生物. 579 pp. 千葉県環境生活部自然保護課, 千葉.
- 大工園認 1984. 鹿児島県本土におけるハマボウの分布. 鹿児島県立博物館研究報告 3: 17-30.
- 愛媛県県民環境部自然保護課 2023. 改訂版愛媛県レッドリスト. <https://www.pref.ehime.jp/h15800/redrisuto.html> (2024 年 11 月 17 日確認)
- 土井美夫 1983. 広島県植物目録. 148 pp. 博新館, 広島.
- 福岡県環境部自然環境課 2011. 福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011—植物群落・植物・哺乳類・鳥類—. 240 pp. 福岡県環境部自然環境課, 福岡.
- 広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会編 1997. 未確認種. 広島県植物誌. pp. 561-566. 中国新聞社, 広島.
- 広島市編 1983. 広島市西部開発事業誌. 673 pp. 広島市, 広島.
- 広島市植物公園編 2005. 高木リスト 広島県産高等植物目録. 広島市植物公園紀要 22-23: 5-129.
- Horikawa, Y. 1976. *Hibiscus hamabo* Sieb. et Zucc.. Atlas of the Japanese Flora II . pp. 676. Gakken, Tokyo.

- 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課編 2020. 兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック 2020 (植物・植物群落). (公財) ひょうご環境創造協会, 兵庫.
- 井上雅仁 2013. アオイ目アオイ科ハマボウ *Hibiscus hamabo* Sieb. et Zucc.. 改訂しまねレッドデータブック 2013 植物編〜島根県の絶滅の恐れのある野生生物〜. pp. 56. 島根県環境生活部自然環境課, 島根.
- 鹿児島県環境林務部自然保護課編 2016. 改訂・鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物 植物編 鹿児島県 RED DATA BOOK 2016. 3499 pp. 鹿児島県, 鹿児島.
- 神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課・神奈川県立生命の星・地球博物館編 2022. 神奈川県レッドデータブック 2022 植物編. 438 pp. 神奈川県, 神奈川.
- 狩山俊悟 2020. ハマボウ *Hibiscus hamabo* Sieb. et Zucc.. 岡山県版レッドデータブック 2020 植物編. pp. 225. 岡山県環境文化部自然環境課, 岡山.
- 高知県レッドデータブック (植物編) 改訂委員会編 2022. 高知県レッドデータブック 2022 植物編. 229 pp. 高知県林業振興・環境部自然共生課, 高知.
- 国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所 2018. 太田川放水路のあゆみ〜水と緑の平和都市・広島礎〜. 13 pp. 国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所, 広島.
- 国土交通省気象庁 2024. 各種データ資料. https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etm/index.php?prec_no=67&block_no=47765&year=&month=&day=&view= (2024 年 12 月 5 日確認)
- 三重県農林水産部みどり共生推進課編 2015. 三重県レッドデータブック 2015 〜三重県の絶滅のおそれのある野生生物〜. 757 pp. 三重県農林水産部みどり共生推進課, 三重.
- 宮崎県レッドデータブック改訂・外来種リスト検討委員会 2021. 改訂・宮崎県版レッドデータブック. 380 pp. 宮崎県, 宮崎.
- 中西弘樹 1979. ハマボウ群落の分布と生態. 植物分類地理 30: 169-179.
- 中西弘樹 2010. ハマボウの保全の歴史と現状. 保全生態学研究 15: 153-158.
- 奥山春季 1958. 1. はまぼう. 原色日本野外植物図譜 3 夏から秋の植物 (I) pp. 41. 誠文堂新光社, 東京.
- 大分県自然環境学術調査会 2023. レッドデータブックおおいだ 2022. 310 pp. 大分県, 大分.
- 大野景德 2003. アオイ科 MALVACEAE Juss. 1789. 千葉県の自然誌別編 4 千葉県植物誌県史シリーズ 51. pp. 368-372. 千葉県, 千葉.
- 大阪生物多様性保全ネットワーク編 2014. 大阪府レッドリスト 2014. 48 pp. 大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室みどり推進課, 大阪.
- 関太郎・中西弘樹・鈴木兵二・堀川芳雄 1975. 厳島 (宮島) の維管束植物. 厳島 (宮島) の自然. pp. 221-332. 宮島町, 広島.
- 末広喜代一 2021. ハマボウ *Hibiscus hamabo* (アオイ科). 香川県レッドデータブック 2021 香川県の希少野生生物. pp. 185. 香川県環境森林部みどり保全課, 香川.
- 立花吉茂 1989. ヒビスクス [属] *Hibiscus* L., nom. cons. 園芸植物大辞典 4: 109-123. 小学館, 東京.
- 徳島県 2014. 徳島県版レッドデータブック (レッドリスト). https://www.pref.tokushima.lg.jp/kankyo/kankoubutu/red_date.html/ (2024 年 11 月 17 日確認)
- 和歌山県環境生活部環境政策局環境生活総務課自然環境室 2022. 保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック— [2022 年改訂版] 783 pp. 和歌山県環境生活部環境政策局環境生活総務課自然環境室, 和歌山.
- 和歌山県林業センター編 1982. 林業センターだより 12. 8 pp. 和歌山県林業センター, 和歌山.
- 山口県 2019. レッドデータブックやまぐち 2019 山口県の絶滅のおそれのある野生生物. 986 pp. 山口県, 山口.
- 山崎学編 2016¹⁾. 特集 2 雰囲気のある夏盆栽をつくろう. 涼を楽しむ樹と器. 隔月間『山野草とミニ盆栽』'16 年夏号. pp. 38-41. 近代出版, 京都.
- 山崎学編 2016²⁾. 特集 2 秋に輝く葉ものの盆栽. 紅葉, 黄葉がきれいな樹. 隔月間『山野草とミニ盆栽』'16 年秋号. pp. 40-45. 近代出版, 京都.
- 横川昌史 2017. 瀬戸内海沿岸のハマボウ. Nature Study 6: 1, 6.